大阪大学経営協議会（令和 8 年度 第 1 回）議事要旨

日　時　令和 8 年 6 月 5 日（金）10 時 00 分～12 時 20 分

場　所　大阪大学中之島センター　8 階大会議室

出席者　熊ノ郷総長（議長）
井上、大塚、金倉、河原、國井、豊田、仲谷、蓮輪、藤井、松井、村木、百瀬、吉川、渡辺
藤尾、田中、尾上、尾﨑、宮本、林、竹村、武田、髙田、山上、石井
各委員
欠席者　黒田、大政　委員

議事に先立ち、熊ノ郷議長から、新任委員の紹介があった。
続いて、熊ノ郷議長から 4 月 24 日から 4 月 30 日に実施した書面審議に対する謝辞と、前回（令和 8 年 3 月 11 日開催）の議事要旨については、事前に各委員に照会し、内容を確定した旨の報告があった。

議　　事

1　前回のご意見等に対する取組状況について
熊ノ郷議長から、配付資料に基づき報告があった。

2　役員の報酬について
熊ノ郷議長から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

3　令和 8 年 6 月期の教職員賞与及び役員賞与について
武田委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

4　令和 9 年度概算要求（施設整備事業）について
尾﨑委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

5　令和 7 年度決算について
尾﨑委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

6　長期借入金の償還状況について
尾﨑委員から、配付資料に基づき報告があった。

7　令和 7 年度資金運用状況について
尾﨑委員から、配付資料に基づき報告があった。
本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。
○　国立大学の資金運用におけるベストプラクティスを確認するためにも、国内外の他大

学の運用状況を参考に教えてほしい。

○　寄附金の受入れをさらに拡大するに当たり、他大学との比較（ベンチマーキング）を行うことが望ましい。

8　指定国立大学構想に関する進捗状況＜令和７年度特筆すべき成果＞について

熊ノ郷議長から、配付資料に基づき報告があった。

9　国立大学法人評価 第４期中期目標期間 ４年目終了時評価に係る「達成状況報告書」及び「業務実績報告書」について

髙田委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

○　評価が低かった項目は改善の余地がある点として、重点的に取り組むべきである。特に、留学生支援や女性活躍推進等、ダイバーシティに関する項目の自己評価が低かったことは意外であり、今後の強化が重要であるため着実な改善を求めたい。

○　ダイバーシティの数値に関して、クロスアポイントメントに依存している面があるため、より基本的な観点から検討すべきである。

○　大学の業務運営基盤を支えている事務職員について、ガバナンス・コンプライアンス強化の観点も踏まえ、昇給等の人事施策に加えて、理事登用を視野に入れたキャリアパスの設定や人材育成を検討してはどうか。

○　留学生数や海外派遣者数の増加については、結果としての数値目標にとらわれるのではなく、学士・修士・博士課程の各段階において、本学が外国人学生等から「選ばれる」ための要因やプロセスを検討することが重要である。受入環境（衣食住等）の整備を含め、数の拡大のみならず選ばれる大学となるために研究・教育プロセスを見直すことで、結果として留学生や海外派遣の増加につながるのではないか。

10　令和７年度 OU アクションプラン自己点検・評価結果の検証について

髙田委員から、配付資料に基づき報告があった。

11　令和８年度 OU アクションプラン（確定版）について

藤尾委員から、配付資料に基づき報告があった。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

○　エビデンスの有無にかかわらず、通報がより率直かつ自由に行えるよう、制度設計の見直し・改善を進めることが望ましい。また、制度設計については、関係機関にとどまらず学生に至るまで確実に周知されるよう、繰り返しの周知徹底することが重要である。なお、通報制度が十分に行き渡らなければ声が上がりにくくなるため、問題の芽を早期に把握・対処する観点からも、継続的な周知の強化が必要である。

12　領域長からの話題提供　～学術研究機構医歯薬生命領域における取組事例について～

石井委員から、配付資料に基づき報告があった。

（以　上）